第26号
発行2021年2月

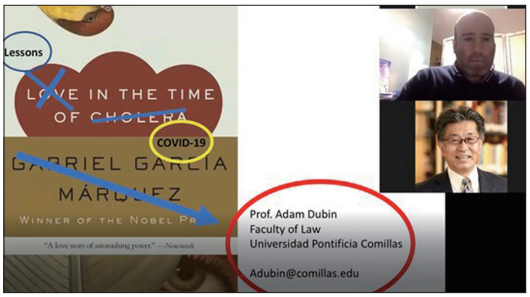
PSIM News

Professional Skills Instruction Materials
CONSORTIUM

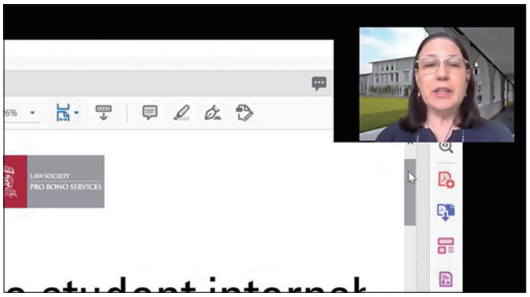
法実務技能教育教材研究開発コンソーシアムニュースレター

セミナー等報告

第36回法実務技能教育支援セミナー



Ⅰ. Adam D. Dubin氏



Ⅱ. Helena Whalen-Bridge氏

Ⅲ. Matthew Wilson氏

第36回法実務技能教育支援セミナーは2020年12月20日にZOOMミーティングを用いオンラインウェビナーとして開催いたしました。今回のセミナーは法学教育の中でもCOVID-19拡大感染により特に大きな影響を受けているクリニック系・インターンシップ系の法実務技能教育に焦点をあて、スペイン、シンガポール、合衆国のロースクール教育、そして合衆国の継続法曹教育の状況について情報共有する機会として企画したものです。

「Lessons in the Time of COVID」と題して、スペイン ポンティフィシア・コミージャス大学教授であるAdam D. Dubin氏からは、クリニックやインターンシップがスペイン国内のみならず、EU域内で国際的にも展開されていることをふまえ、大学としてどのように対応されてきたのかについての詳細な報告がなされました。

シンガポール国立大学のHelena Whalen-Bridge氏からは、インターンシップや学生Pro Bono活動が対面で実施できなくなった状況下で、どのようにクライアントと学生が連絡をとってこれらのプログラムを実施してきたのかについて、特に守秘義務や対人的な礼儀に焦点をあてて紹介がなされました。

テンプル大学日本校学長のMattew Wilson氏は、合衆国の法学教育の大きな動きの中で今回のCOVID-19流行のインパクトを整理する報告がありました。

また、時差の関係で事前収録ビデオ参加となりましたが、PSIMコンソーシアムと協力関係にあるNITA（National Institute for Trial Advocacy）からは、COVID-19流行に対応して迅速に継続法曹教育のオンライン化を進めた経験が報告されました。

これらの報告を受け、フロアからは、リモート教育にかかる大学からのサポートやリモートでのクリニックやインターンシップでの誓約書のあり方などについて活発な質疑応答がなされました。お忙しい中、セミナーにご出席いただいたみなさまに心より御礼申し上げます。

CONTENTS
今号の主な記事

第36回法実務技能教育支援セミナー …01
模擬法律相談 …02
第14回総会 …04
今後の予定 …04

模擬法律相談（PSIMコンソーシアム共催）

2020年11月25日（水）、名古屋大学にて、名古屋大学法学部宮木ゼミ・愛知県弁護士会主催、PSIMコンソーシアム共催の模擬法律相談を開催いたしました。

COVID-19感染拡大のなか、感染対策を徹底するとともに、参加者の皆様のご協力により、対面方式（一部学生はリモートにて参加）で開催することができました。

当日の様子を宮木康博名古屋大学大学院法学研究科教授にご寄稿いただきましたので、ご紹介させていただきます。

模擬法律相談を開催して

名古屋大学大学院法学研究科　教授　宮木康博

11月25日、PSIM行事の一環として、模擬法律相談を実施しました。例年は、検察庁による模擬取調べとの比較学習の観点から、模擬接見を行ってきましたが、今年は、民事分野にもチャレンジすることとし、離婚、相続、賃貸借に関する模擬法律相談を行うことにしました。事案の作成や当日の相談者役は、愛知県弁護士会の法科大学院委員会の皆様にお願いし、学生（学部生47名、法科大学院生6名）は15のチームに分かれて弁護士役として参加しました。

今回は、新型コロナの影響で、開催自体が危ぶまれましたが、PSIMのスタッフの方々を中心に、検温、消毒、分離、遮蔽、換気を徹底する体制を組んでいただき、弁護士および学生の高い意識に支えられて開催にこぎつけることができました。普段、刑事法のゼミに所属している学生にとっては、尻込みするような民事の事案でしたが、士気は高く、ZOOM等を駆使して入念に準備するなど、主体的に取り組んでいました。

学習効果の観点および実践の場であることから、事案の詳細は示さないこととし、学生へは以下の事案概要のみを伝えることにしました。

【離婚案件】

夫が不倫をしたので、離婚したい。慰謝料が欲しい。夫の年収はそれなりなので、貯金をかなり貯めているはずである。子供が２人いる。離婚した場合の収入や育児に不安を感じている。夫との直接の話し合いは難しいと思う。

【相続案件】

母が今年３月に入院先の病院でなくなった。相続人は、兄、私、弟だと思う。母の面倒は兄夫婦が見ていたが、よく分からない出金があって信用できない。遺言はあるが、納得いかない。弟と一緒に兄と交渉したい。相続税や依頼料がいくらかかるのかも聞きたい。

【賃貸借案件】

住んでいる物件の管理業者の対応が不誠実で困っている。網戸や給湯器が壊れているのに、修理を依頼しても直してくれない。犬を飼うなとか、恋人と同居する等、文句ばかりである。敷金のことでも聞きたいことがある。

相談者役の弁護士の方々は、リアルな質問を投げかけて下さり、学生たちも六法や資料を手に、仲間とも相談しながら真摯に向き合っていました。学部生が「正解」を模索していたのに対し、法科大学院生は、ロイヤリングやその他の実務科目で常日頃鍛えられていることもあってか、相談者の表情をみながら「採りうる選択肢を提供する」ことに努めておりました。

模擬法律相談の終了後は、講評とともに学生が弁護士の方々と懇談する機会に恵まれました。そこでは、弁護士の方々から、学生時代の勉強方法やその際の反省点が率直に語られるとともに、弁護士の日常、とりわけ、ライフワークバランスを念頭に、家庭との両立などについてもお話しいただきました。今回は、女性の弁護士の方々にも多数参加いただけたことで、女子学生は、子育てとの両立について熱心に耳を傾けていました。

弁護士の先生方からは、「予想以上の事前準備で学生が臨んでいた」「相談者役をやることで弁護士としても勉強になることが多々あり、充実した時間になった」などの声が多数寄せられました。学生もほとんどがアンケートに「大変満足した」と回答するとともに、「何を意識して勉強すべきかが掴めた気がする」「今後の勉強のモチベーションがあがった」などと感想を述べており、意義を実感できたようでした。

昨年は、「コロナを理由にするのではなく、何ができるのかを考え、学習の質・量ともに下げない」ことを合言葉にしてきましたが、学生は新たなツールを駆使しながら、達成に向けて努力しており、頼もしさを感じるとともに、こちらが力をもらう一日となりました。

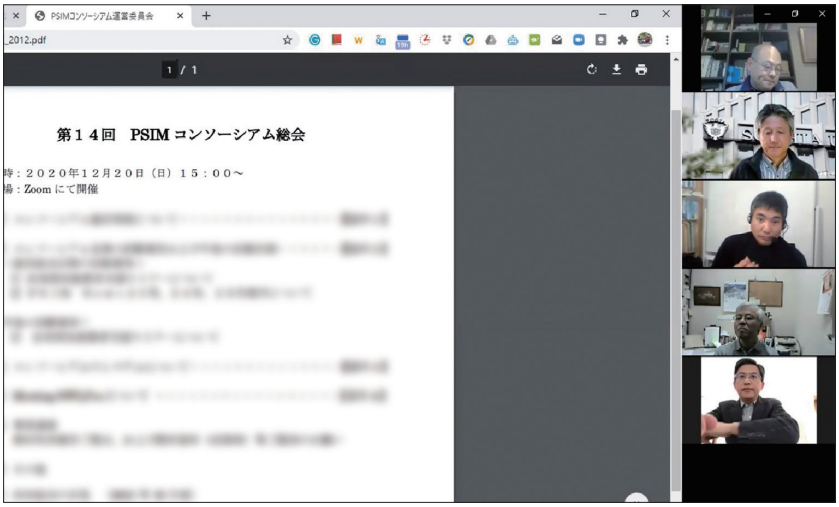
関係者の皆様には、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

第14回総会

2020年12月20日(日)、Zoomによるオンラインにて、第14回PSIMコンソーシアム総会を開催いたしました。

藤本代表より、コンソーシアムの活動報告および今後の活動についての報告後、新システム(PF-Note、Meeting OWL)についての紹介がなされました。

総会終了後に開催いたしました参加校および協力機関各校からの報告では、主にCOVID-19感染拡大下における各校の状況や対面および対面とオンラインの併用で実施するハイブリッド形式の授業等の方法についてご報告をいただきました。2020年初頭よりCOVID-19感染に対応せざるを得なくなり、PSIMコンソーシアムが取り組んできたICTを活用しての教育方法がさらに注目を集めていることが明らかになったと思います。総会にご出席いただきましたみなさまにこの場をお借りしてお礼申し上げます。



今後の予定

■ 第37回法実務技能教育支援セミナー

日 時　未定
場 所　未定

■ 第15回PSIMコンソーシアム総会

日 時　2021年10月頃
場 所　未定

法実務技能教育教材研究開発(PSIM)コンソーシアム ニューズレター 第26号
[発行者] PSIMコンソーシアム [代 表] 藤本　亮 名古屋大学大学院法学研究科　教授
[事務局] 〒464–8601 名古屋市千種区不老町 名古屋大学大学院法学研究科 211研究室
[TEL&FAX] 052-788-6234 [ホームページ] http://psimconsortium.law.nagoya-u.ac.jp

法実務技能教育教材研究開発(PSIM)コンソーシアムは、法科大学院における法実務技能教育に関し、教材の作成と共同利用・教育人材の養成・教育方法論の構築を目的として、下記の法科大学院が参加して全国規模で活動しています。

[PSIMコンソーシアム参加校]
名古屋/北海学園/東北/東京/専修/早稲田/上智/日本/桐蔭横浜/
愛知/南山/金沢/関西学院/大阪市立/近畿/岡山/広島/九州/琉球（2020年4月現在19校　順不同）